

富山高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	英語表現Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号		0036		科目区分		一般 / 選択	
授業形態		授業		単位の種別と単位数		履修単位: 2	
開設学科		電気制御システム工学科		対象学年		2	
開設期		通年		週時間数		2	
教科書/教材		My Way English Expression II（三省堂），同ワークブック（三省堂），ブレイクスルー総合英語（美誠社），スタディサプリEnglish, 配布資料					
担当教員		陳 璐					
到達目標							
ア 与えられた話題について簡潔な英語を用いて話すことができる。 イ 読み手や目的に応じて簡潔な英文を書くことができる。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどを簡潔な英語でまとめ、口頭発表することができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		英語運用の基礎となる要素、知識、規則（語、連語、慣用表現、文構造、文法事項、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながり、等）を認識している。		英語運用の基礎となる要素、知識、規則（語、連語、慣用表現、文構造、文法事項、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながり、等）を概ね認識している。		英語運用の基礎となる要素、知識、規則（語、連語、慣用表現、文構造、文法事項、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながり、等）を認識していない。	
評価項目2		英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や異文化を理解しようとする姿勢を身につけている。		英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や異文化を理解しようとする姿勢をおおむね身につけている。		英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や異文化を理解しようとする姿勢をおおむね身につけていない。	
評価項目3		ある程度の確さ、流暢さ、即応性を持って、社会性のある話題や自らの専門に関する基礎的な情報や考えなどを理解したり伝えたりすることができる。		ある程度の確さ、流暢さ、即応性を持って、社会性のある話題や自らの専門に関する基礎的な情報や考えなどを理解したり伝えたりすることが概ねできる。		ある程度の確さ、流暢さ、即応性を持って、社会性のある話題や自らの専門に関する基礎的な情報や考えなどを理解したり伝えたりすることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー DP1							
教育方法等							
概要		1年次既習の英文法発展し、講義と演習を通じて、英文の基本的な仕組みと語彙の活用法を理解する。身近な話題に関する英語の表現力を身に付ける。					
授業の進め方・方法		講義及び演習 事前に行う準備学習：前回の講義の復習および予習を行ってから授業に臨むこと （授業外学習・事前）授業内容を予習しておく。 （授業外学習・事後）授業内容の復習を行い、課題を完成すること					
注意点		・辞書を持参すること。 ・予習・復習を必ず行うこと。 ・提出物を期限までに必ず提出すること。 ・授業計画は学生の理解度に応じて変更する場合がある。 ・長期休業中課題は別途指示する。 ・本科目では、50点上の評価で単位を認定する。評価が50点未満の者は、すべての課題を完了した上で願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者に対しては、その評価を50点とする。					
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
必修修							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション		授業概要説明、学習方法指導、1年次内容の総復習		
		2週	Lesson 1		現在形、現在進行形・未来進行形		
		3週	Lesson 2 Review Exercises 1		未来完了形、過去完了進行形など 復習：時制の発展		
		4週	復習：助動詞と受動態 Lesson 3		助動詞 1（義務・必要など）		
		5週	Lesson 4		助動詞 2（過去の状態・習慣、慣用表現）		
		6週	Lesson 5		さまざまな受動態の表現		
		7週	Review Exercises 2 Project Work A		復習：時制、助動詞、受動態の発展		
		8週	復習：不定詞と動名詞 Lesson 6		自動詞＋不定詞、SVO＋不定詞		
	2ndQ	9週	前期中間試験		学習範囲の試験を行う。		
		10週	中間試験答案返却・解説		中間試験の解説を理解し、理解度の低い項目の復習を行う。		
		11週	Lesson 7		疑問詞＋不定詞、完了形の不定詞など		
		12週	Lesson 8		動名詞を用いたさまざまな表現		

後期		13週	Lesson 9	不定詞と動名詞、不定詞を用いた表現
		14週	復習：分詞と分詞構文、知覚動詞、使役動詞 Lesson 10、Review Exercises 3、Project Work B	さまざまな分詞構文の表 復習：不定詞、動名詞、分詞の発展
		15週	前期期末試験	学習範囲の試験を行う。
		16週	期末試験答案返却・解説、授業アンケート	期末試験の解説を理解し、理解度の低い項目の復習を行う。授業アンケート。
	3rdQ	1週	復習：比較と関係詞 Lesson 11	比較に関するさまざまな表現
		2週	Lesson 12 Review Exercises 4	関係詞の非制限用法、複合関係詞 復習：比較表現、関係詞
		3週	復習：仮定法と否定、話法など Lesson 13	仮定法を用いたさまざまな表現
		4週	Lesson 14	間接話法、否定表現
		5週	Review Exercises 5 Project Work C	復習：仮定法、否定表現、話法
		6週	Lesson 15	代名詞を用いたさまざまな表現
		7週	Lesson 16	時間に関する表現
		8週	Lesson 17	無生物主語構文、名詞の表現
	4thQ	9週	前期中間試験	学習範囲の試験を行う。
		10週	中間試験答案返却、復習	中間試験の解説を理解し、理解度の低い項目の復習を行う。
		11週	Lesson 18	譲歩を表す表現
		12週	Review Exercises 6 Lesson 19	重要構文の復習(1) 結果・程度、目的を表す表現
		13週	Lesson 20	強調表現、同格表現
		14週	Lesson 21 Review Exercises 7, Project Work D	群動詞、群前置詞 重要構文の復習(2)
		15週	後期期末試験	学習範囲の試験を行う。
		16週	期末試験答案返却・解説、授業アンケート	期末試験の解説を理解し、理解度の低い項目の復習を行う。授業アンケートを行う。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	課題・提出物	発表	態度	ポートフォリオ	相互評価	合計	
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100	
基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	